

# セキュリティツール(製品)の分類・知識・評価・選択と予算管理の勘所（基礎編）

## 【オンライン受講のみ】（4121207）

本セミナーでは、セキュリティ製品やサービスの用語と定義、効果（カバー領域）について基礎的な部分を理解し、『選択方法』について解説します。また、セキュリティ分野での昨今のクラウドにおける制限、オンプレミスとの併存の例題を挙げ、具体的なoffice365、クラウド・アクセス・セキュリティ・ブローカー（CASB）/BOX等の基盤より、セキュリティ製品やサービスの組み合わせを検証し、総IT予算と総セキュリティ予算積み上げを実施し、セキュリティへの投資が不足していないか判断します。

開催日時	2021年9月13日(月) 10:00-17:00ライブ配信
カテゴリー	共通業務（契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理）・セキュリティ・システム監査 <a href="#">専門スキル</a>
講師	石橋正彦 氏 (サイバー研究所 所長) ベリングポイント（現PwC）においてセキュリティ監査人/ベンチマークに従事。その後、ガートナーにてセキュリティ、BCP/DRのリサーチ業務に従事。ISOの審査員を経て、国内でもISOを取得した企業（6規格統合運用）に在籍し、効率の良い 内部監査や従業員教育を実施。JUASでは研究会に12年在籍し、講師を6年に渡り実施。現在ではコンサルファームに所属。
参加費	JUAS会員/ITC：33,800円 一般：43,000円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	情報システム部門のSE、コンサルタント 職務：営業/開発/管理部門 レベル：システムエンジニア初級 ※当日は自社のソフトウェア一覧、セキュリティ購入製品の金額等をご用意ください。 <a href="#">中級</a>
開催形式	講義
定員	20名
特記	※当講座は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、オンライン受講のみに変更となりました。
ITCA認定時間	6

## 主な内容

※当講座は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、オンライン受講のみに変更となりました。

### ■受講形態

【選べる受講形態】

A. 会場にてご参加 ← [【Co-lab-po（2階会議室）施設利用にあたっての取り組み】](#)

B. オンラインにてご参加： [【セミナーのオンライン受講について】](#)

### ■テキスト

A. 会場にてご参加：当日配布

B. オンラインにてご参加：開催7日前を目途に発送（お申込時に送付先の入力をお願いします）

※開催7日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になることがあります。ご了承ください。

企業ではセキュリティ製品やサービスの提案を受けた際、セキュリティ製品に類似品や種類が多く、製品の『知識』『評価』『選択方法』か判断できない場合があります。

本セミナーでは、セキュリティ製品やサービスの用語と定義、効果（カバー領域）について基礎的な部分を理解し、製品やサービスの『知識』について学びます。

また、セキュリティ製品をどのように『評価』すべきか勘所を掴み、その製品の年代や誕生から、企業の最新動向より『選択方法』について理解します。

また、セキュリティ分野での昨今のクラウドにおける制限、オンプレミスとの併存の例題を挙げ、具体的なoffice365、クラウド・アクセス・セキュリティ・ブローカー（CASB）/BOX等の基盤より、セキュリティ製品やサービスの組み合わせを検証します。

最終的には、総IT予算と総セキュリティ予算積み上げを実施し、セキュリティへの投資が不足していないか判断します。

### ◆主な研修内容：

#### 第1部

- ・本セミナー受講の前提条件
- ・セキュリティ製品やサービスの分類
- ・クラウド・セキュリティとCASBとは
- ・コミュニケーション基盤の現状とセキュリティ対策

（演習1）各社のNotes/office365/BOX/ファイルサーバ等のコミュニケーション基盤の現状とセキュリティ対策を発表する

#### 第2部 エンドポイント/ネットワーク・セキュリティ 『知識/製品の評価/選択方法』

- ・ エンドポイント・セキュリティ（アンチウイルス/HDD暗号化/EDR）
- ・ 1 世代目のファイアウォールと次世代ファイアウォール/UTM
- ・ IPSやサンドボックス
- ・ メールに関するセキュリティ製品やサービス
- ・ 誤送信対策や、2ファイル目にパスワードを送付する日本人が好むセキュリティ対策

（演習2）エンドポイント/ネットワーク製品の凡その組みあわせからセキュリティ予算を積み上げる

### 第3部 オンプレミスとクラウドをうまく住み分けるIAM

（アイデンティティ&アクセス管理）の『知識/製品の評価/選択方法』

- ・ IAM（特権ID管理、WAM）の分類と効果
- ・ ディレクトリ管理の勘所
- ・ 人事システムからディレクトリ、AzureADまでのプロビジョニング（IDM）
- ・ システム連携（フェデレーション、SAML/ADFS）の有効利用
- ・ オンプレミス（製品/オープンソースか）、サービスか価格や予算の決め手
- ・ 一般的な犯罪捜査とIAMの有効性

（演習3）特権ID管理の国内と海外の意識の違い（犯罪の考え方）

### 第4部 アプリケーション・セキュリティとデータ・セキュリティ『知識/製品の評価/選択方法』

- ・ アプリケーション・セキュリティ（脆弱性診断やペネトレーション・テスト）
- ・ データ・セキュリティ（暗号化とDRM、トークナイゼーションやCASB）
- ・ SOCは自前かサービスか

（演習4）データ・セキュリティやパブリック・クラウドの災害対策（情報漏洩）をシミュレーションし、パブリック・クラウドでは、セカンダリ・サイトが不要ではないかという討議

### 第5部 予算管理

- ・ 総IT予算と総セキュリティ予算の意味
- ・ 第1部～4部までの積み上げを実施
- ・ 類推型/統計型/積み上げ型/コンサルティング型でのセキュリティ製品選定とサービス選定の違い

（演習5）積み上げ予算の算出

### 第6部

- ・ まとめ

※当日は自社のソフトウェア一覧、セキュリティ購入製品の金額等をご用意ください。